



Win!



設立理念

老人にも明日がある

発行 医療法人真正会 埼玉県川越市安比奈新田 283-1

企画編集 広報誌編集企画チーム 編集長 長谷川 均

ホームページアドレス <http://www.kasumi-gr.com/> メールアドレス info@kasumi-gr.com



新年のお屠蘇配りからのひとコマ

理事長 齊藤正身

『新年明けましておめでとうございます』

毎年、年の始めに真正会・真寿会共通のテーマを掲げています。職員から公募し、その中から選んでいます。朝礼の度に唱和をすることで一つの想いを共有しています。今年のテーマは、「ふれる手と手とつながる心」が選ばれました。当たり前のことのように感じられると思いますが、患者様・ご家族・地域のみなさま、そして職員の間で、「つながる」ために必要な「ふれあい」をどんな形で具体化できるのか、これが私たちの今年のテーマです。今年もよろしくお祈りします。

さて、今回の特集は「病院機能評価の認定」です。霞ヶ関南病院が全国共通の尺度で外部評価され、昨年11月に認定されました。非常に光栄なことですが、同じ業界内での評価であり、これに甘んじることなく、地域のみなさまに評価していただくために今後も努力を惜しまず前進していきたいと考えています。「ふれる手と手とつながる心」の実現こそが、みなさまからの最高の評価と認識しています。

医療機能評価の認定を受けました

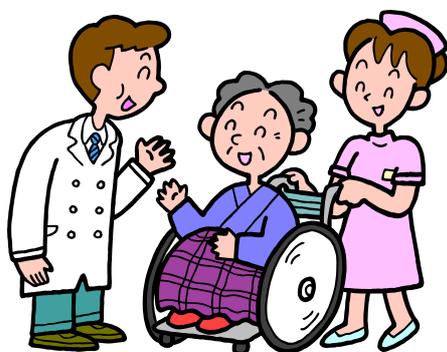
この度、霞ヶ関南病院は(財)日本医療機能評価機構より、一定以上の質の高い医療サービスを提供している病院だけに発行される、医療機能評価の認定を受けることができました。現在この認定は、日本の全病院の約20%にしか発行されておらず、当院も認定にむけて1年以上の時間をかけて、準備に取り組んでまいりました。



【医療機能評価って？】

日本の医療提供システムは、その構築の過程でまず量的な整備に力が注がれてきましたが、高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の進歩等により、医療に求められるものが、高度化、多様化してきました。

また、近年では、社会そのものの構造の変化により、国民の保健医療に対する関心や要求がますます高まっています。



このような状況下で、国民に対して良質な医療提供を推進し確保していくことが、重要な課題となりました。

そこで、医療機関が質の高い医療サービスを提供していくための支援を行うことを目的として第三者機関(財)日本医療機能評価機構)による中立的な立場で評価する制度が整備されました。それが医療機能評価認定制度です。

【霞ヶ関南病院での取り組み】

実際の医療評価は、当院関係者とは異なる第三者が複数人、数日間来院され、600にわたる様々な項目を実際に見回り、資料をチェックするという厳しいものでした。医療法人真正会は開設当初より「地域なくして医療は成り立たない」という考えの下に、包括的な保健・医療・福祉のサービスを提供してまいりました。しかしながら、この600という細かな項目の中には、まだまだ不十分な点やもっと良く改善できる内容も多く含まれておりました。



私たちはこの機能評価を受審し認定を受けることが、当法人を利用いただいている方々に、更なる医療の質やサービスの向上が図れるものとし努力をしてまいりました。今後も地域住民の方々のニーズを的確に捉え、安心・安全なサービスが提供できるよう邁進していく所存です。

今後も忌憚のないご意見をいただけますよう、お願い申し上げます。

各部門からの声

600 にわたる審査項目を大別すると、以下のような領域に区分されています。
領域ごとの責任者からの声…

*領域1:病院組織の運営と地域における役割

病院の理念、基本方針、役割、将来計画および組織運営、情報管理、職員の教育・研修をはじめ医療サービスの改善活動、地域の保健・医療・福祉施設などとの連携と協力について問われました。

審査の際は、高い評価を受けましたが、慢心することなく今後も改善を続けます。

(本部 川井)

*領域2:患者の権利と安全確保の体制

患者様の権利の尊重と安全管理のための体制や手順の確立、情報の収集及び分析・改善の項目、そして医療事故への対応と院内感染管理についての項目でした。

患者様が安心して満足のいく医療環境であることが評価されました。(本部 武居)

*領域3:療養環境と患者サービス

来院者への接遇と案内、患者・家族の医療相談の体制やプライバシー確保への配慮、療養環境の整備体制等についての項目でした。

環境面等でも高い評価を頂きましたが、さらなる改善・進化を考えるきっかけとなりました。

(本部 飯島)

*領域4:診療の質の確保

診療の質を確保するための基本的な活動や診療を支える各部門の機能、また、患者様の診療経過を視点において、適切な診療活動が展開されているか等が評価される項目でした。今回の受審をきっかけに各診療部門の見直し、磨きをかけるいい機会になりました。

(医局 岩淵)

*領域5:看護の適切な提供

看護の組織運営や教育体制に対する評価と、患者様に直接関わるケア(看護)の内容が審査されました。

看護を中心とした項目ではありましたが、患者様の生活に関わる他職種(医師、リハビリ、)管理栄養士、薬剤師、医療福祉相談員等)との連携の部分も高い評価を受けることができました。(看護部 小野塚)

*領域6:病院運営管理の合理性

運営管理についての項目で、人事・財務・経営・施設・設備・物品の管理や業務委託・訴訟等について審査されました。

事務管理の広い視点が求められる項目であり、経営状態や職員が安心して働ける環境であることが評価されました。(本部 武居)

*領域8:療養病床に特有な病院機能

療養病床に特有な病院機能ということで、入院患者様の受け入れ体制や、自立支援・在宅支援の取り組み等の項目でした。

多くの項目で大変高い評価を受けることができました。(医療福祉相談部 榊原)



霞ヶ関南病院にMRIを導入しました



当院のMRIは**ワイドオープン型**の装置です。
圧迫感・閉塞感が少なく、ご高齢の方でも安心して検査が受けられます。
最新鋭のMRI装置ですので、音が静かです。
脳ドック検査等にもご利用下さい。
外来担当医にお気軽にご相談下さい。

地域感謝祭ふれあい広場

昨年11月12日(土)に、霞ヶ関南病院お隣りの特別養護老人ホーム「真寿園」にて、『**地域感謝祭ふれあい広場**』が開催されました。当日はお天気にも恵まれ、沢山の地域の方にご来場いただきました。



当日は、職員による出店、地域の方々によるフリーマーケットや、恒例となりました**マグロの解体ショー(目方当てクイズ)** & **即売会**で大変にぎわいました。



真正会・真寿会で今までお預かりした募金及びふれあい広場で当日集まりました募金(87,153円)を『**ドイツ国際平和村**』()に送りました。ご協力ありがとうございました。



ドイツ国際平和村の活動の詳細についてはURL：<http://www.friedensdorf.de/japan/home.htm> をご覧下さい。

インフルエンザは予防から



- 手洗い、うがいが予防の第一歩です。
- 流行時期は、概ね1月から3月です。
- マスクの利用が効果的です。
- ちょっと変かなと思ったら中央病院外来にご相談下さい。



厚生労働省インフルエンザホームページ URL：<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/h1112-1.html>

Shinseikai Medical Group

霞ヶ関南病院 TEL 049-232-1313

霞ヶ関中央病院 TEL 049-231-5121

安比奈クリニック TEL 049-239-3353

川鶴診療所 TEL 049-233-2155

訪問看護ステーション スマイル TEL 049-233-2525

在宅介護支援センター かすみ TEL 049-234-8181

居宅介護支援事業者 霞ヶ関南病院 TEL 049-239-3560

ケアラウンジ南大塚 ホームヘルプステーション コール TEL 049-238-1188

SKIP トレーニングセンター TEL 049-232-1313 (代)